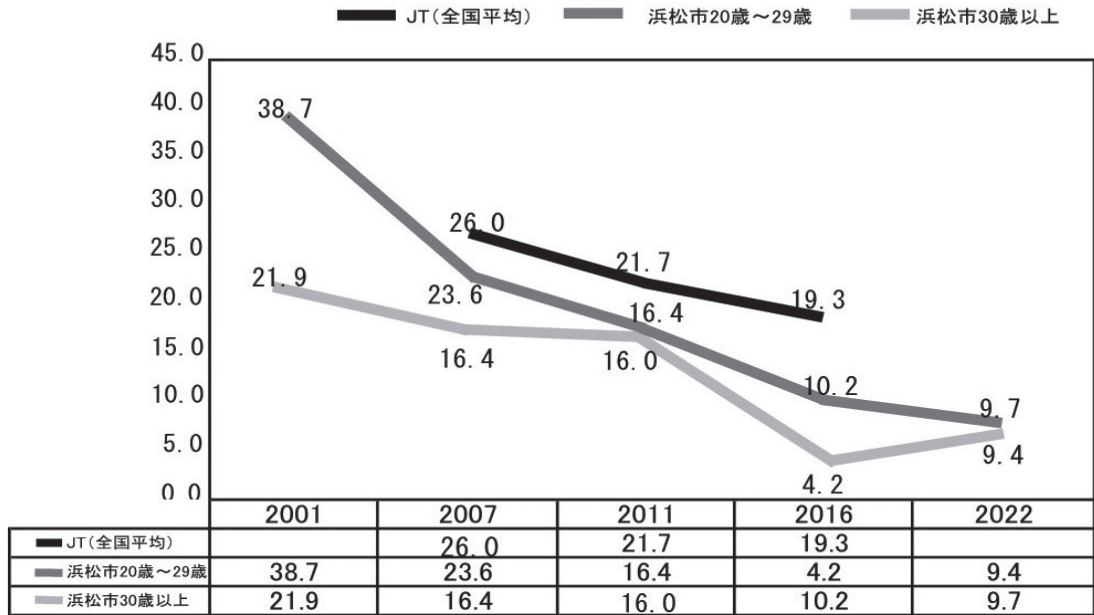


2022年 浜松市民喫煙率



6. 浜松モザイカルチャーター博における受動喫煙対策
7. 受動喫煙防止サミットin浜松
8. JR浜松駅南北に設置された浜松マナー灰皿撤去
9. 浜松市消防局・救急隊員向け喫煙アンケート
10. 受動喫煙防止啓発CDR「あすの君たちへ」製作
11. 政令指定都市浜松における健康寿命NO1達成
12. 自民党浜松市議団啓発講演
13. レストランの禁煙化シンポジウム開催

策により、じわりである。このように社会環境の喫煙対策により、じわり

2006年にフィリップモリス社が、アイコスを上梓した。その後JTを含め数社が追随しているが、若者の劇的人气は凄まじい。本格的に我が国で紙巻きタバコが主流となったのは1920年頃で、有害性が明確になったのは2000年頃である。この間タバコ産業は、80年間ほど人体への悪影響はハッキリしないとコメントし続けてきた。

加熱式タバコ販売に当たり、初めて10%の有害性を告白したことになる。逆に言えば、80年間も真実を伝えていなかったわけであり、これは隠蔽・隠匿の極みではないか。

投稿●喫煙率低下の【功】、加熱式タバコ喫煙率著増の【罪】

加藤一晴

政令指定押都市浜松の健康政策を考える会・代表理事
 こどもをタバコから守る会・代表

喫煙率9.7%の快挙

浜松市権健康増進課によれば、成人喫煙率(2022年調査)は9.7%まで低下した。健康日本21の目標である喫煙率10%を達成したことになる。浜松市には2013年までたば

こ産業の工場があり、それなりのタバコ税収を収めていただろうが、地域住民の健康意識の高揚には勝てなかったのだろう。

更に、JR浜松駅南北には、たばこ産業の設置した「浜松マナー灰皿」があったが、それも撤去されて久しい。多くの来浜される方が口々に「浜

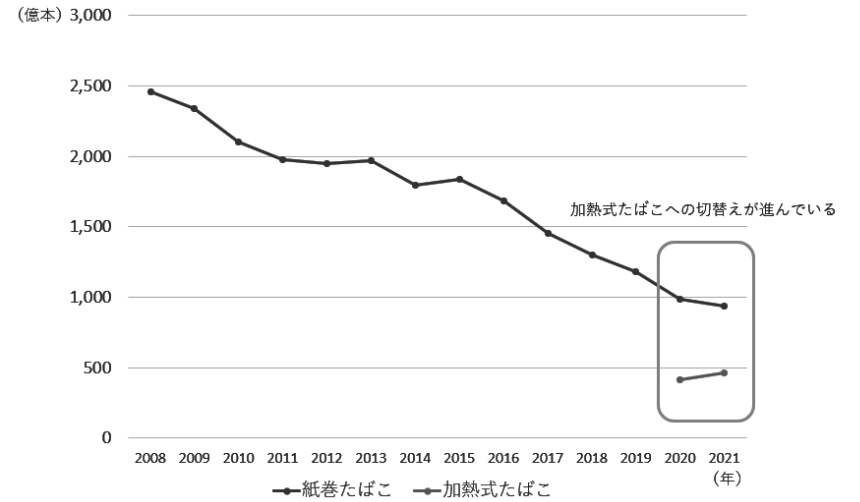
松には吸える場所がない」のコメントが聞かれるが、「政令市中健康寿命NO1浜松」の面目躍如である。

畳みかける社会環境禁煙化

- これまで、筆者らは社会環境禁煙化に腐心してきた。
1. 小学校6年生への防煙教育
 2. わかふじ国体における受動喫煙
 3. 対策 浜名湖花博における受動喫煙対策
 4. 浜松市タクシー協会にて乗務員への禁煙講演会
 5. 息(おき) 神社祭典の喫煙対策

【図2】 たばこ製品の販売実績推移

紙巻たばこの販売数が減少する一方、加熱式たばこの販売数は増加傾向に



一般社団法人 日本たばこ協会「たばこ関連情報」
 加熱式たばこ統計データ 年度別販売実績推移表 (<https://www.tioj.or.jp/data/heated.html>)
 紙巻たばこ統計データ 年度別販売実績推移表 (<https://www.tioj.or.jp/data/index.html>)

重要な未成年者喫煙阻止策

熱式タバコにせよ紙巻きタバコにせよ、20歳から開始する人は少ない。大人に見られたくなくて吸い始める人ばかりである。そのために退廃的雰囲気避けることが肝要であり、現在の我が国では、未成年啓発が不完全である。それは圧倒的に喫煙の有害性が不足していると考えている。

それには小学校高学年時に、筋の通った喫煙防止対策が肝要ではないか。有害性を周知し、未成年喫煙を阻止することが無煙社会への最短コースと考えたい。

代わりに

健康日本21の目標達成を目標に、様々な喫煙対策を講じてきた。社会環境禁煙化を目指して様々な手段を実践してきた。結果、市民喫煙率9.7%を達成し、もはや最終コーナーを迎える局面と考えたが、知らぬ間に最終コーナーには側道ができていた。それに向かって、どんどん車両は流出している。この爆発的増加は加熱式タバコの発売以降着実に増えているのだ。

今回、浜松市の新市長に中野祐介氏が選出された。中野氏は「まちと人と仕事を元気にする」と訴え、喫煙の課題として、人口減少を挙げた。乳幼児の医療費無償化や、子育て支援をすみやかに取り組んで行くには、平行して未成年への喫煙阻止・加熱式タバコの有害性周知の徹底も欠かせない。各種啓発媒体 (YouTube・DVD・リーフレット)などを駆使し、市行政・民間団体が一丸となり、未成年喫煙阻止に邁進して欲しい